

令和7年度「中山町学校の将来構想検討委員会」説明会について

検討委員会では、これまでの経過や検討委員会の現時点の方向性を町民へ周知するため、以下の日程で町民説明会を開催しました。

- ① 10月 4日（土） 長崎小学校体育館 18時～19時30分（22名参加）
- ② 10月 5日（日） 豊田小学校体育館 18時～19時30分（19名参加）
- ③ 10月 13日（月・祝） 中山中学校剣道場 18時～19時30分（24名参加）

町民説明会で出たおもな質問・意見

【義務教育学校、学校教育について】

- ・義務教育学校の検討にあたって、学年区切りなどは非常に大きな問題。細部は、義務教育学校になると決まってから検討していくのか、学年区切りを提示して決めていくのか。
- ・義務教育学校を子どもに教えるとき、どう言えばいいか迷う。今は小1～6、中1～3だが、1年生～9年生になるんだよと話して、子どもは理解できるだろうか。また、制服や体操着は、どうなるんだろうという疑問もある。
- ・乗り入れ授業が可能になるというのは魅力的だが、教員免許によることであつた。現在中山町の学校の先生方の免許状の状況はどうなのか。小中乗り入れが可能な教員は、どれだけいるのか。
- ・子ども達の成長を考えると、義務教育学校はどうなのか、視察した学校で良さとデメリットとかの話は出なかったのか。
- ・デメリットについて一部説明があったが、そのほかのデメリットについて実際にやっている義務教育学校から聞いていないか。
- ・大きくは人口減少、校舎の老朽化がきっかけだろうが、中山町の良さ、中山町らしさを生かした教育というところで、現時点での考えがあれば教えてほしい。
- ・中学進学にあたってのギャップは軽くなったとしても、高1ギャップは起こる。問題を先送りしているだけなのではないか。

【学校の統合、施設について】

- ・少子化との関連はどうなのか。少子化だから1校にするのか。
- ・学力アップ、進学スキルアップを求める、選択の自由として途中で変更（町外の中学校、東桜学館や山大附属中への進学）する場合のフォローをどうするのか。
- ・一緒に場所に一緒に学校ということで進めていると思う。中山町は、どこも危険災害区域。たぶん、長崎に建つと思うのだが、反対が合った場合見直すのか。
- ・方向性として施設一体型義務教育学校のようだが、今ある施設か。新たな施設をつくるか。
- ・数年後に、豊田小複式学級というデメリット。再配置計画にあげないと、どこに建てるかわからないとのことで、転入とかあって子どもの人数等で状況が変わったらどうなるのか。見直しもあるのか。新しく建てるのが一番大変では。

【今後の進め方について】

- ・校舎の老朽化が課題という話があったが、義務教育学校が整うまでの安全性の確保をどのように考えているのか。
- ・移行する際の手立ては。義務教育学校という理念はわかるが、具体的なところを教えてほしい。
- ・大人目線で、義務教育学校を見学して、義務教育学校が良いと判断したと思うのだが、子どもたちはどう考えているのか。子どもたちの意見も聞く必要があるのではないか。
- ・教育はもっと広い視野で、町全体ですすめていくべきものと考える。広い視野で進めてもらいたい。

町民説明会のご参加、ありがとうございました。当日は、他にもいろいろなご意見をいただきました。いただいたご意見を今後、答申作成の際に参考にさせていただきます。